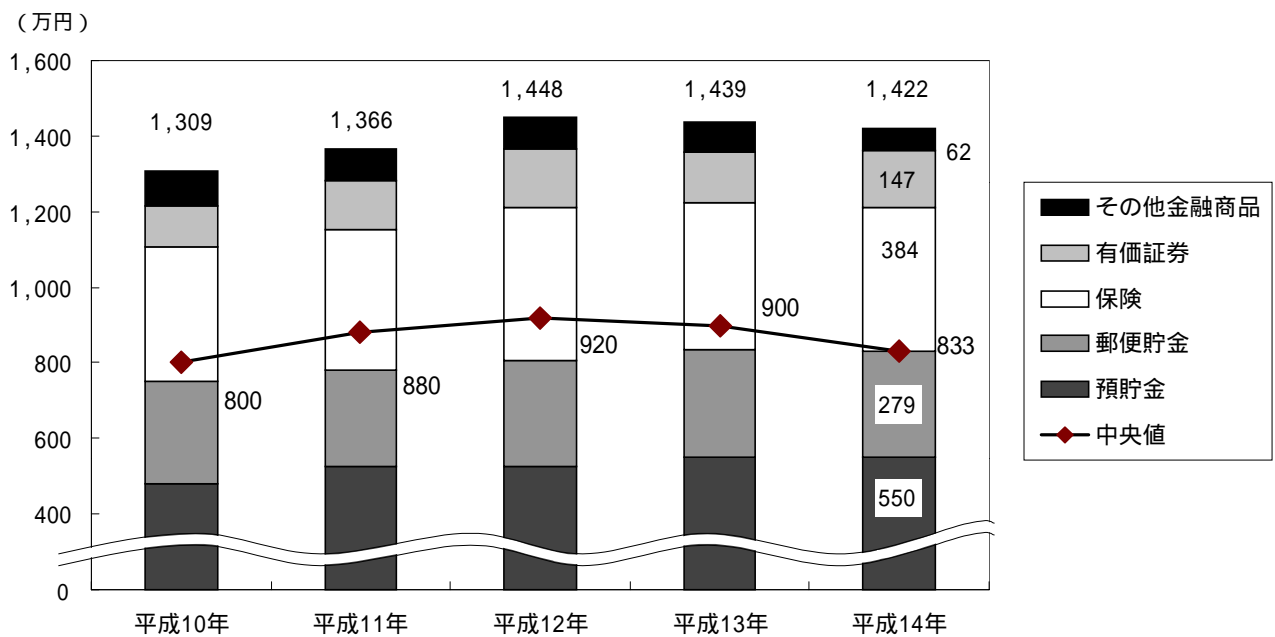


・金融資産の保有状況

- ・ 金融資産の1世帯当たり平均保有額は1,422万円となり、2年連続で前年を下回った(前年比 17万円) [図表1]。金融資産保有世帯の中央値^(注)も、833万円と前年(900万円)を下回った。金融商品別にみると、最も構成比の高い預貯金(郵便貯金を除く)は前年とほぼ同額の550万円となったが、そのうち定期性預貯金は352万円と前年比33万円の減少となった。
- ・ 現在の金融資産保有額が1年前に比べ「減った」と回答した世帯は、2年連続で前年比増加し、設問開始(昭和63年)以来初めて回答世帯の過半に達した[図表2]。金融資産保有額が減少した世帯にその理由を聞いたところ、「収入減による貯蓄取り崩し」を挙げた回答世帯が半数を超えた[図表3]。
- ・ 今後保有を増やしたり、始めてみたい金融商品としては、預貯金(郵便貯金を除く)を挙げた世帯が引続き最も多く、前年比も増加。一方、株式や公社債投資信託(MMF等)などは前年に比べて減少した[図表4]。

(注) 13ページの「【BOX】平均値と中央値」参照。

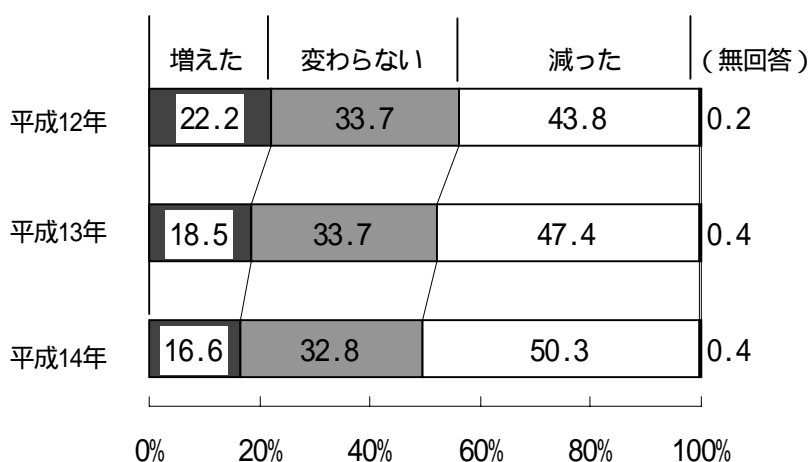
(図表1) 金融資産保有額<問3(a)>



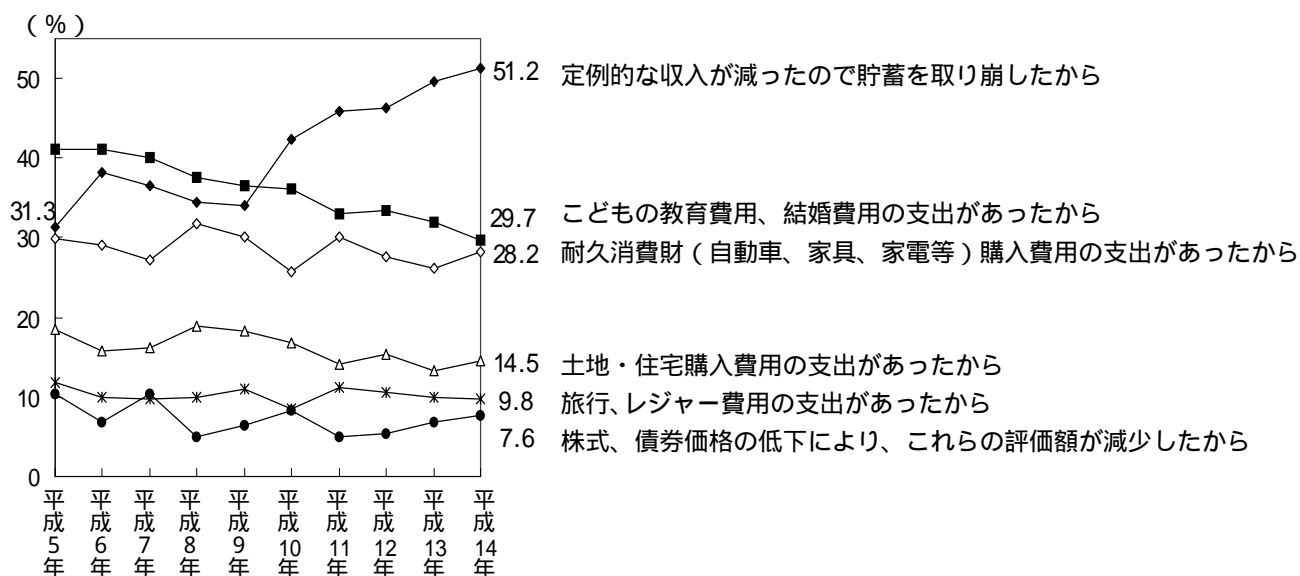
(金融商品種別構成比)

	保金 有融 額資 産	預 貯 金	除 預 貯 郵 貯 金	う ち 定 期 性	郵 便 貯 金	金 貸 付 信 託	簡 生 易 保 険	損 害 保 険	個 人 年 金	有 価 証 券	債 券	株 式	投 資 信 託	財 形 貯 蓄	金 融 の 他 品 の
	万円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 12 年	1,448	55.7	36.3	26.0	19.4	2.7	20.7	2.3	4.8	10.6	1.3	7.1	2.2	2.8	0.3
13	1,439	58.2	38.3	26.8	19.9	2.1	20.2	2.2	4.6	9.2	1.2	6.3	1.8	2.9	0.6
14	1,422	58.3	38.7	24.8	19.6	1.7	19.5	2.7	4.9	10.3	1.6	6.6	2.1	2.3	0.4
平成14年 の実額	万円 1,422	万円 829	万円 550	万円 352	万円 279	万円 24	万円 277	万円 38	万円 69	万円 147	万円 23	万円 94	万円 30	万円 32	万円 6
(前年差)	(17)	(8)	(1)	(33)	(7)	(6)	(14)	(7)	(3)	(14)	(6)	(4)	(4)	(10)	(3)

(図表2) 1年前と比較した金融資産保有残高の増減<問8>



(図表3) 保有残高が減った理由(複数回答)<問9(b)><1年前に比べ保有額が減った世帯=100%>



(図表 4) 今後保有を増やしたり、始めてみたい金融商品 (複数回答) < 問 4 >

